

株式会社グッドバンカー
リサーチチーム

SRI ファンドは企業の CSR 活動を後押しし、持続可能な社会へ方向づける投資手法の一つですが、証券取引所でも CSR に対する社会の認識を高める取り組みが見られます。

世界の 52 の取引所が加盟している国際取引所連合（World Federation of Exchanges（以下 WFE））のレポートによると、各国の取引所において CSR ガイドラインを策定したり、上場基準に CSR 関連の情報開示を定めるなど、企業の意識向上に取り組んでいます。

新興国の取引所では、2004 年 5 月に南アフリカの証券取引所が初の SRI index を組成しました。設定にあたっては、海外の事例を参考にしながら、南アフリカ特有のサステナビリティにかかる評価項目も盛り込んでいます。それに続き、ブラジルの証券取引所が ESG^{*1} スクリーニングを行うインデックスを立ち上げました。ブラジルでは、証券取引所が市場における ESG 基準の引き上げに大きな役割を果たしました。2008 年 12 月までに 10 の SRI ファンドが設定され、PRI（責任投資原則）にも 18 の年金基金が署名、その資産規模は全年金基金のおよそ 60%にあたるといえます。

これらの取り組みが、中東や近年急成長を遂げているアジアの取引所に影響を与えました。インドでは、国外の機関投資家および国内の企業のトップ、年金基金、アセットマネージャー、銀行などを招き、SRI 投資に熱心な TIAA-CREF^{*2} や PGGM^{*3} などの機関投資家に講演してもらうことで、国内のサステナブル投資への認識を高めると同時に、インドの CSR への取り組みや投資機会などについて、国内外の機関投資家に紹介することを目的としています。

金融サービスとしては、2009 年に韓国やインドネシア、上海証券取引所が CSR/SRI インデックスを立ち上げたのに続き、エジプトも 2010 年 3 月に中東アラブ諸国初の ESG インデックスを立ち上げています。

この WFE には、東京・大阪両証券取引所も加盟しています。日本でも、東京証券取引所が 2006 年に「TOPIX1000CSR」という、テーラーメイド型の SRI インデックスを立ち上げたことがあります。しかし、証券取引所が設定する公募の SRI インデックスはまだなく、WFE のレポートで取り組み事例が掲載されていないのは残念なことです。国内の取引所がさまざまな SRI 指数を立ち上げることは、SRI に対する投資家の理解・浸透を促すことに加えて、日本のサステナブル投資を世界に紹介し、日本企業に対する海外の SRI 投資家の関心を高める機会にもつながるでしょう。

*1 ESG: Environment (環境)、Social (社会)、Governance (ガバナンス)

*2 TIAA-CREF: 米教職員保険年金連合会・大学退職株式基金

*3 PGGM: オランダ医療社会福祉事業関係者年金基金

参考文献: World Federation of Exchanges 「Exchanges and sustainable investment」 August, 2009